



店長に聞いた
あんこちゃんを
支える想い

大切なのは、自由に動ける環境づくり

あんこ本人の現在の姿は、事前から想像できました。もちろん、本人にはSNSを始める前、想定されるデメリットは全て話した上で選んでもらいました。それを割り切るのは簡単じゃありません。その代わり、やってもらう以上、ストレスの吐け口になることや見返り(役職や自由な勤務体制等)の提供は必然です。そのため店長として、業績維持・向上は全力で行います。将来的には、五反野店を広報部署の拠点にし、会社を盛り上げて欲しいという夢もあります。



ミカド五反野店

あんこちゃん(@annko_chan_)

profile ●
 ツイッターフォロワー数: 14,301人(2020年11月30日現在)
 企業名: 株式会社星和(本社/愛知県一宮市)
 職位: 広報マネージャー
 年齢: 23歳(1997年10月1日)
 勤務スタイル: 全時間帯
 ※フロアシフトではなく、一人浮いた状態
 趣味: フィギュア集め(初音ミク好き)
 性格: 負けず嫌い

シリーズ番外編
SNSで輝く女性たち

1・4万人がフォローするアイドル店員!

最近では珍しくないアイドル店員——1・4万人ものフォロワーを誇るあんこちゃんもその一人だが、果たして、どのようにしてそれほどまでの支持を集められたのだろうか。

——あんこちゃんとしてデビューしたキッカケを教えてください。

最初は店舗公式アカウント(@mika_of_gotanno)の管理者から始まりました。名前は出していました。自撮りの投稿などもなかったんです。

担当になって数ヶ月。店長を通して「プロデューサーやじおちゃん(@0914:me)」からアイドル店員化のオファーがあり、悩んだ末にお受けしました。

——現在までのフォロワー数は驚かされます。なにか企画を通じた仕掛けだったり、バズったりしたんですか?

特にそういったことはないですね。当初は3ヶ月以内で3000人という目標がありました。達成できないと罰ゲームというルールがあったんです。「罰ゲームなんてガチでやりたくない」って気持ちで、ツイートや動画配信(ツイキャス)などを頑張らなくて無事に達成しました!



ミカド五反野店
 東京都足立区足立4-38-7
 ●総台数: 350台
 ●P195台/S155台

——負けず嫌いなんですね(笑)

です。ね(笑)。でもフォロワー数がすごく伸びたのは、コロナ禍の営業自粛中なんです。当時は店舗独自のツイートはNGで、本社主導のツイート(貢献活動など)に限られていました。あんこアカウントの運用だけは、そのまま継続させてもらったんです。

ただ、内容は日常ツイートがメインでお店の営業とは全く関係のないものでした。特別だったのは、五反野駅周辺の飲食店さんを支援したツイートでしょうか。いろんなお店のテイクアウト情報をまとめて動画にしたのは反響が多かったです。それまでのフォロワーさんは、地元の常連さんが多かった

ので支援の想いも込めてだったのですが、いままで絡みのなかった様々なユーザーの方が反応してくださり、人気のあるアカウントの方からも絡んでいただけました。伸びていったんです。

——コロナ禍だからこそ、ユーザーの心に刺さったんですね。これだけ注目度が高いと、普段気をつけていることや困ったことが多くなりそうです。

基本1日1ツイート。必要以上のことはつぶやかず、ユーザー側に鬱陶しいと思われないようにしています。ミューにされたら寂しいですし…。

困ることといえば、アンチファンでしょうか。

ツイッター上のアンチファンからは、悪口などのコメントもあります。でも、

そういう方にも全部コメント返しちゃうんです。けどね。

——そこ絡んじゃうんですね。

絡んじゃいます。もう一年以上も付き合っているアンチもいます。彼らもイジりたいんだらうな、と(笑)。でも彼らには困る半面、フォロワーとなつて貢献してくれる一面もあるんです。だからブロックも、無視も、しません。もちろん、言われることが全て平気なわけではなく、嫌になる時だってあります。ココロが折れそうな時は、その度、店長や周りのスタッフに支えられましたし、頼ります!

——厚い信頼ですね。

はい! だから五反野店を離れることを想像すると不安も大きいんです。SNSに対する信頼と理解があるからこそ現在の私(あんこ)があることは深く認識しています。私も社員である立場上、店舗を異動する可能性もあります。そうなった時、他の店舗でも、いまと同じ理解を得られるとは限りません。次に繋げることが目標でもあり、課題(不安)ですね。

——次に繋げる。いい目標ですね!

いまの目標は、アイドル店員のフォロワー数で一番になることです! として、将来的には(社内で)東京都内に姉妹店員を作りたいです。その二つを叶えるため、これからも「あんこ」を続けていきたいと思っています!